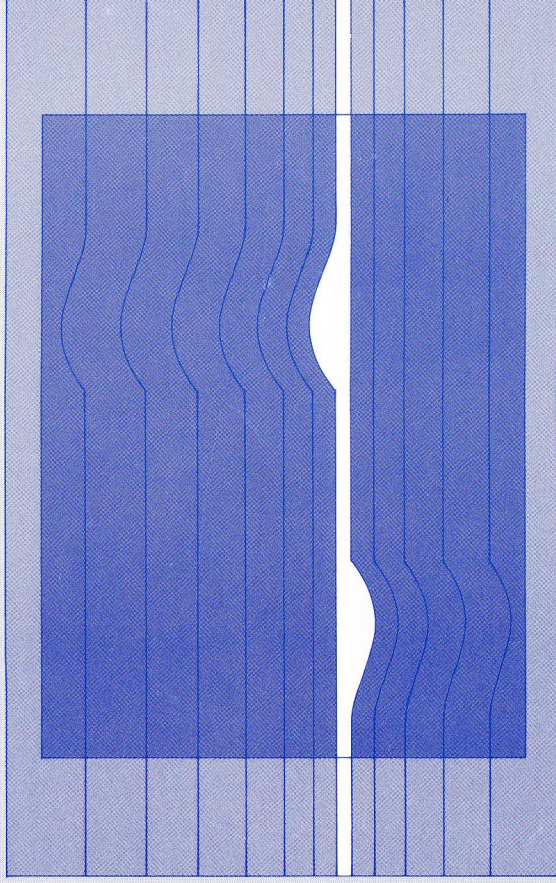


小田原男声合唱团

15th Regular Concert



1986.7.12 (土) PM6:30 開演

小田原市民会館



心から皆様をお迎えいたします

小田原男声合唱団

代表者 日下部 陽

皆様、ようこそおいで下さいました。今年は1971年の発足から数えて15年目を迎え、50名の現団員一同は万感を胸にステージに立つのですが、ずっとお支え下さったご来場の皆様や裏方で援助して下さいました仲間に対する感謝で胸はいっぱいです。どうかこの後とも永くご交誼を賜りますように。

現団員のうち発足以来の者は12名あり、10年以上の在籍者は25名を数えます。落語の「寝床」もどきに大家(おおや)の義太夫と冷やかす悪口仲間もありますが、「寢床」のように「ギダ熟」を病み「節々がいたむ」人が出ないよう、練習も鋭意つけてまいりました。発足当時は30才半ばだった中核派も今ではあらかた50を超え、また当時は新婚だった者の身辺も中・高生がいるなど、それに伴って団活動の中心は若返りへの歩みを必要とし、事実そうなりつつあります。幸いなことに人材は豊富な現況で、将来が楽しみです。

過去15年間にふりかえると、年間12~24回の活動をしており、中にはレコーディング、内外の合唱団とのジョイント、藤沢市民オペラ参加などがありましたが、やはり定演は本番として思い起こすとき、最も感慨深いものです。社会人が集るクラブ活動なので、もちろん苦しいことも多かつた代りに、得た楽しさも格別で、生きていることを実感しております。

休・退団者は100名を超えますが、彼等も含めてこうして人生を謳歌できたことの中心には、常任指揮者福永陽一郎先生の驚異的情熱と高い音楽性、哲学性による薫陶があったことは言うまでもありません。福永先生は近年健康を害されているとは申せ、昨秋のアイダ4日間公演にみるとおり、その情熱はとどまる所を知りません。今宵の第3・4ステージでは、日本の合唱界としては新しい試みが行なわれようとしています。それはしかつめらしい演奏や物珍らしい演奏ではなくて、本来の合唱が持っている人間らしい楽しい部分を、歌う人と聴く人とで共有し合いたいということのようにです。

どうぞ、終りまでゆっくりとお楽しみ下さいますように。

プログラム

1. 男声合唱組曲「わがふるき日のうた」

- I. 鶯のうへ
- II. 湖 水
- III. Enfance finie (過ぎ去りし幼年時代)
- IV. 木 兔
- V. 郷 愁
- VI. 鐘鳴りぬ
- VII. 雪はふる

三好 達 治 作詩
多田 武 彦 作曲

2. The Student Prince (ブロードウェイミュージカル「学生王子」より)

piano: 久 邇 之 宣
lyrics by Dorothy Donnelly
music by Sigm und Romberg
arranged by Yoichiro Fukunaga

- I. Golden Days
- II. Drinking Song
- III. Deep in my Heart, deer
- IV. Serenade
- V. Student March Song

3. 愛 唱 歌 (The New Standard)

- I. Drink to me only with thine eyes
- II. Believe me, if all those endearing young charms
- III. Sweet and low
- IV. Mariä Wiegenlied
- V. Die Nacht
- VI. Ständchen
- VII. 婆やお家
- VIII. 雨
- IX. 円舞曲「酒・女・歌」作品333

常任指揮者 福永陽一郎

東京音楽学校(現東京芸大)本科ピアノ科出身。1956年より藤原歌劇団常任指揮者として活躍、同団の第3次渡米公演に参加。合唱界においても多大の業績を残し「オペラの福永」合唱の福永」として広くその名を知られている。またアマチュア音楽の育成に力ける情熱は比類がなく、小田原男声、法政・早稲田・同志社等の大学合唱団、湘南コーブルグユニオン、藤沢市民交響楽団、さらにユニークなジャパンアカデミーコーラスなどの常任指揮者をつとめている。市民による手作りオペラとして有名な藤沢市民オペラの中心として1983年の「ウィリアム・テル」の本邦初演に続き、昨年11月に「アイーダ」を上演し、全4日すべて満席の大成を収め、音楽界をはじめ広く話題となった。

最近合唱の本来の姿を再発見し、合唱の楽しみを見直そうと呼びかけ、着々準備を進めている。



新しい演奏活動への意欲

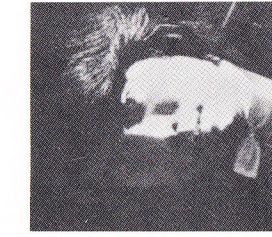
新 福永語録より

最近の福永先生の音楽に対する考え方には、大きな変化が見られます。

本日の演奏会でもプログラムの中にその考えの一端が見られると思います。特に顕著な物が第3ステージでの愛唱歌特集です。我々団員には『演奏会その場で歌う曲は指示します。』などと言われ、少々困惑させられております。そして、このステージでは、これまで我々がドイツ語・英語などで歌い馴染んできた曲もあえて日本語に直して歌う構成になっております。このような先生の音楽の再発見の一部を練習の合間の先生の発言の中から拾ってみたいと思います。

- 私は完璧な演奏は求めません。いかに歌っている人達が楽しんでるか表して下さい。
- コーラスの原点は、ばらばらの人が集まって一つの何かをいかに作るかということだ。
- 私はこの先、難しい曲を演奏することは求めません。今年のステージで言えば、『わがふるさ日のうた』以上の曲はやりません。(これは、いわゆる合唱組曲ばかり並べたが現在の演奏会に対する疑問と思われる。)
- 私はこの15年間、小田男でレパートリー作りをしながらだったが、これは皆さんに色々の種類の音楽を味わって欲しいという気持ちもあった。しかしその裏には『あいつはあの曲しか振れないのか』と思われることを嫌う小さな面子もあった。あの団の演奏会に行けば、あの曲が絶対に聞けるというものがあつて良いはずだ。

伴奏者 久邇之宣



昭和47年、国立音楽大学ピアノ科卒業。フロイツァー豊子に師事。伴奏ピアノニストとして活躍をはじめ。第26回合唱コンクール全国大会で小田原男声合唱団が銅賞受賞の栄誉を受けたのも、氏の伴奏の巧績に負うところが大きい。その後も、小田原男声合唱団とは、しばしば共演、高い評価を得ている。1981年6月、2年間のウーエーン留学後は各地のアマチュア合唱団とも共演、レコード録音などますます円熟した活動を続けている。

男声合唱の新しい

「スタンダード・レパートリーを求めて」

この15年間、小田原男声は数多くの合唱曲を歌ってきました。難曲・大曲のなぐいから珠玉の掌篇に至るまで、どの曲にもいろいろな思い出があり、物語は尽きません。大曲を仕上げた時の喜びもさながら、耳慣れた小曲にいつそ愛着を感じるのは、そこに合唱の原点を見出すからでしょう。

オーブニングで演奏される、校歌「都の西北」を聞きたいばかりに、毎年早大グループクラブの定期演奏会を聞きに行く人とか、アンコールの「ウ・ボーイ」だけを楽しみに関学グループの音楽会の切符を買う人がいるとかいう話を耳にします。「男声合唱の新しい」スタンダード・レパートリー」を求めても、男声合唱の良さが存分に感じられる曲、男声合唱でなければ表現できない曲など、いわば小田原男声の十八番集と言えるような曲を集めたステージです。これから歌われるいくつかの曲が幸いお気に召して、また来年もアンコールされるとしたら、団員一同の喜びこれに過ぐるものはありません。

Drink to me only with thine eyes イングランド民謡

「君が瞳もて杯挙げてよ」などの題で古くから親しまれている曲です。

我がために君よ杯上げよ
汝がために我も杯上げよ
杯にくちづけ残し給え
さらば我永遠に老いることなし

かつての日に我きみに贈りし
薔薇の花は永遠に枯れることなし
我がカエされぬ匂いもあせす
我が君を愛せしものをば

Believe me, if all those endearing young charms
アイルランドの古い民謡に、有名な詩人トーマス・モア(1779~1852)が詩をつけた優しい愛の歌です。若き日の花のかわんばせが色あせる人の世の冬が来ても我が愛は変わるることなしと歌うこの歌、「春の日の花と輝く」(堀内敬三訳詞)の題で親しまれて来ました。別の歌詞をつけてハーヴェード大が校歌としてこの歌、小田原男声は第10回定演でとり上げています。

Sweet and low

バーンビー作曲

イギリスの桂冠詩人アルフレッド・テニスン(1809~1892)の詩集“The Princess”(1847)にある「ほのかに、静かに」に作曲されたこの曲、「海辺の子守歌」(平井康三郎訳詞)として親しんで来られた方もおありでしょう。ほのかに吹く西風に乗ってお父さんもやがて帰って来るよ、だから心安くおやすみと歌う優しい子守歌です。

Mania Wiegandied

ペーリッツ作詩・レーガー作曲

ドイツの作曲家マックス・レーガー(1873~1916)の「簡明な旋律集」の中にある歌曲で、1904年ごろの作と言われて

います。バラの花咲く垣の傍らにまどろむ幼な子イエスを見守る聖母マリア。木の葉のそよぎと小鳥の歌の中で、田の胸にまどかにお眠りと歌うマルチン・ペーリッツの詩に、素朴な民謡風なメロディと近代的な和声の付いたこの曲、宗教的な美しさ、敬虔さ、清らかさに充ちています。

Die Nacht クルムマツヒヤ作詩・シユーベルト作曲

1823年10月に作品17として出版された4曲のうちの1曲です。夜の美しさをこれほど巧みに描いた曲はあまり類がありませんが、小田原男声の何人かかのメンバーにとつては、男声合唱に親しむきっかけとなった懐かしい曲でもあります。空色の小さな「ポピュラー男声合唱曲集」緒園涼子の訳でした。

Ständchen

ヴォルフ作詩・マルシユネル作曲

およそ男声合唱を志すものにとつて、セレナードと言えは、それはシユーベルトのものでもなく、トステイのものでもなく、何はさておきこのマルシユネルのものを指すのは間違いありません。哀愁を言んだメロディは戦前から広く親しまれて来ました。

婆やのお家

林 柳波 / 作詩・本居辰世 / 作曲

「ウミ」(ウミハヒロイナ、大キイナ、……)や「オウマ」(オウマノオヤコハ、ナカヨシコヨシ、……)などの文部省唱歌で知られる林柳波(この他に「お六娘」「田植歌」などの作品があります。)の詩に本居辰世が作曲した日本情緒豊かな男声合唱曲です。婆やとか舅のお屋根と言った言葉に郷愁を感じられる方もおありではないでしょうか。

雨

八木重吉 / 作詩・多田武彦 / 作曲

第1回定演以来しばしば手がけ、東芝レコードにレコーディングしたこともある組曲「雨」の終曲です。作曲者自ら「私の臨終における鎮魂曲として、しみじみと心に訴えかけてくるこの曲と語っているように、しみじみと心に訴えかけてくるこの曲を私たちはいつまでも愛唱して行くに違いありません。

円舞曲

「酒・女・歌」作品333

ヨハン・シュトラウスII 作曲

第5回定演にアンコールとして登場して以来、何回となく歌われてきたワルツ王ヨハン・シュトラウスII世の名曲です。「美しく青きドナウ」と共に男声合唱のために作られたオリジナルで、今ではオーケストラ版でもたびたび演奏されています。リーダー・シヤッツ風のイントロダクションに始まり、アダムとイヴの物語になぞらえて、人間がいかにして酒(もちろん、ワインですが)を得たか、人類のコーラス事初めの由来を楽しく歌い出し、うまき酒、美しい恋人・よき妻、楽しい歌の功德をたたえ、「酒と女と歌なしで生きて何になる。すべて人はここに生きて酒と歌と女があり、これをすべてよきものとす。これぞ人の世の生きるしるしぞ。いざや歌み干せ杯、歌え若き日のうた高らかに、ささげよ愛をうるわしきものに……。」と歌い上げるこの歌、小田原男声のテーマ・ソングとしてまさにふさわしいものと言えるでしょう。



お食事とコーヒー 送亭

お堀端通り

小田原市栄町1-13-31

TEL 23-3631

わがふるき日のうた

III. Enfance finie (過ぎ去りし幼年時代)

三好達治

海の遠くに島が……、雨に椿の花が墮ちた。鳥籠に
春が、春が鳥のゐない鳥籠に。

I. 蟄のうへ

あはれ花びらながれ
をみなごに花びらながれ
をみなごしめやかに語りひあゆみ
うららかなの登音空にながれ
をりふしに睡をあげて
繁りなきみ寺の春をすぎゆくなり
み寺の蟄みどりにうるほひ
箱々に
風鐸のすがたしづかなれば
ひとりなる
わが身の影をあゆます蟄のうへ

II. 湖水

この湖水で人が死んだのだ
それであんなにたくさん舟が出てゐるのだ
葦と藻草の どこに死骸はかくれてしまったのか
それを見出した合図の笛はまだ鳴らない

風が吹いて 水を切る體の音權の音
風が吹いて 草の根や蟹の匂ひがする
ああ誰かがそれを知ってゐるのか
この湖水で夜明けに人が死んだのだと

誰かがほんとは知ってゐるのか
もうこんな夜が来てしまったのに

約束はみんな壊れたね。

海には雲が、ね、雲にはは地球が、映ってゐるね。

空には階段があるね。

今日記憶の旗が落ちて、大きな川のやうに、私は人と
と訣れよう。床に私の足跡が、足跡に微かな塵が……、
ああ哀れな私よ。

僕は、さあ僕よ、僕は遠い旅に出ようね。

IV. 木 兎

木兎が鳴いてゐる
あまた木兎が鳴いてゐる
古い歌
聴きなれた昔の歌
お前の歌を聴くために
私は都にかへって来たのか……
さうだ
私はいま私の心にさう答へる

十年の月日がたった
その間に 私は何をしてきたか
私のしてきたことといへば
さて何だらう……
一つ一つ 私は希望をうしなつた
ただそれだけ

楽しく弾ける、やさしく弾ける



電子オルガン ビクター

NS-5 SYSTEM B

- システム価格 ¥856,000
- 本体 NS-5 ¥383,000 ● スタンド NS-S1 ¥28,000
- イス NS-E2 ¥26,000 ● 足 籠 NS-F1 ¥61,000
- フルカブラー オルガン音源ユニット NS-T9 ¥240,000
- アンプ AX-E33 ¥35,000 ● スピーカー SP-E77 ¥20,000 × 2
- スピーカーラック LX-B100 ¥11,500 × 2

Victor
JVC

小田男 15年の歩み...
—定期演奏会 演奏曲目—

第1回

1. 第2番ミサ曲ト長調より (グノー 作曲)
2. 男声合唱組曲「雨」 (多田武彦 作曲)
3. 男声合唱のためのレクイエム「碑」
(森脇憲三 作曲)
4. ポピュラー・ヒット・ベストアルバム
(ある愛の詩 他)
5. 日本民謡集(ソーラン節・おてもやん 他)

第4回

1. 日本民謡集(ソーラン節・おてもやん 他)
2. 合唱組曲「雨」 (多田武彦 作曲)
3. 合唱組曲「水のいのち」
(高田三郎 作曲)
4. シューベルトの男声合唱曲集
(Die Nacht 他)
5. 黒人霊歌集 (Deep River 他)

第2回

1. Just a song at twilight
(Love's Old Sweet Song 他)
2. 男声合唱のための組曲「蛙の歌」
(南 弘明 作曲)
3. チャイコフスキー名曲集より
(聖史曲 他)
4. 男声合唱組曲「月光とピエロ」
(清水 脩 作曲)

第5回

1. レクイエム (ケルビーニ 作曲)
2. 子供の四季
(春の小川 他)
3. オペラ合唱曲集 (狩人の合唱 他)

第6回

1. 古典イタリア歌曲集 (アマリリ麗し 他)
2. メンデルスゾーン男声合唱曲集
(トルコの酒のみ唱 他)
3. 「岬の墓」 (団 伊久磨 作曲)
4. 北原白秋の詩集より (からたちの花 他)
5. 黒人霊歌集 (Go down Moses 他)

第3回

1. 聖チエチリアのミサ (グノー 作曲)
2. 柳河風俗詩 (多田武彦 作曲)
3. シューベルト男声合唱集より
(Der Gondel father 他)
4. Sea Chanty より
(ロジェ・ワグナー 編曲)
5. 枯木と太陽の歌 (石井 敏 作曲)

第7回

1. ミサ曲ト長調 (シューベルト 作曲)
2. 海の構図 (中田喜直 作曲)
3. ジプシーの歌 (ブラームス 作曲)
4. ミュージカル名曲集(ハロードローラー他)

日本シエーリング株式会社

医薬営業部 東京支店

横浜営業所

第8回

1. フリーメーソンのためのカンタータ
(モーツァルト 作曲)
2. 男声合唱組曲「中勸助・詩から」
(多田武彦 作曲)
3. トステイヤー名曲集
(Songo 他)
4. 日本民謡集(ノーラン節・おてもやん 他)

第9回

1. ドイツミサ曲 (シューベルト 作曲)
2. 男声合唱曲集「島よ」(大中 恩 作曲)
3. ミッチミラースタイルによる名曲集
(Born free 他)
4. 合唱による風土記「阿波」
(三木 稔 作曲)

第10回

1. ロバートショウ編曲による「小学唱歌」
(ローレイ 他)
2. さすらう若人の歌 (マーラー 作曲)
3. 男声合唱組曲「雪明りの路」
(多田武彦 作曲)
4. サンサーンス男声合唱曲集(秋の歌 他)

第11回

1. 「沙 羅」 (信時 潔 作曲)
2. 男声合唱組曲「月光とピエロ」
(清水 脩 作曲)
3. シー・シヤンティより
(ロバートショウ 編曲)
4. ヨハンシュトラウス作品集
(美しく青きドナウ 他)

第12回

1. 聖チエチリアのミサ (グノー 作曲)
2. 海鳥の詩 (広瀬量平 作曲)
3. メリーウイドウ (レハール 作曲)

第13回

1. 北斗の海 (多田武彦 作曲)
2. 枯木と太陽 (石井 敏 作曲)
3. 黒人霊歌 (Ralf Peterson 編曲)
4. 大磯小学校合唱団特別出演
(空がこんなに青いとは 他)
5. ドイツ民謡集 (Sommer 他)

第14回


1. シューベルト男声合唱曲 (夜 他)
2. フランスの詩による男声合唱曲集
「月下の一群」(南 弘明 作曲)
3. 男声合唱のための組曲「蛙の歌」
(南 弘明 作曲)
4. ウェスタン・ノスタルジア
(Oh, Burry me not 他)

栄養のバランス



手軽にとれるエネルギー。
バランス栄養食 **カロリーマイト**

ミネラルのバランス



●さわやかな飲み心地で、気分すっきり。

団員一覽

T1

大塚	夫正	小田原	71-11	入団年月
吉田	晃司	小田原	71-11	71-11
斎藤	修男	厚木	76-5	71-11
福島	修男	小田原	77-2	71-11
日置	兀	南足柄	79-6	72-1
加藤	広木代	大磯	81-1	77-1
西橋	敬	二宮	83-11	78-1
高中	幸弘	伊勢原	83-11	78-6
		南足柄	85-1	81-1

T2

青野	純史	小田原	71-11	71-11
福井	慎慶	二宮	71-11	71-11
藤本	治明	秦野	74-12	71-11
氏北	道幸	山北	75-3	74-1
北鈴	幸	平塚	76-11	76-1
井筒	豊	山北	79-8	76-4
小野	弘	海老名	81-1	78-3
伊東	弘孝	小田原	81-10	83-10
鈴木	精幸	小田原	83-10	83-10
佐藤	孝	二宮	83-12	83-10
青野	士	秦野	86-5再	84-10再
坪		南足柄	86-6再	85-5再

B1

足利	裕之	湯河原	71-11	入団年月
柏木	秀茂	小田原	71-11	71-11
下村	興毅	小田原	71-11	71-11
松本	和夫	小田原	71-11	71-11
小沢	一	小田原	72-1	72-1
二宮	二	磯	77-1	77-1
中島	志隆	厚木	78-1	78-1
奥津	隆	真鶴	78-6	81-1
広田	邦也	茅ヶ崎	81-1	82-10
青木	也弘	真鶴	82-10	83-10再
鉦伊	清	小平	83-10再	85-4再
古沢	憲	野宮	85-3	85-3

B2

井上	忠彦	小田原	71-11	71-11
坂口	宗誠	小田原	71-11	71-11
辺沢	誠	小田原	71-11	71-11
下部	孝	小田原	74-1	74-1
日下部	陽	平塚	76-1	76-1
中山	之夫	二宮	76-4	76-4
江藤	凱	厚木	78-3	78-3
福野	雅秀	平塚	83-10	83-10
山神	敏	開成	84-10再	84-10再
桑原	裕	大井	85-5再	85-5再
湯川	光	小田原	86-5	86-5

第15回定期演奏会スタッフ

実行委員長 斎藤恵司 事務局 井上忠彦 会計 広田守邦 渉外 下村興毅 プログラム 小野 豊 北畠道治 デザイン 福野雅典 合宿 日置達男 技術 青木雅也 ステママネ 福井 隆

小田原男声合唱団スタッフ

常任指揮者 福永陽一郎 練習指揮 青木雅也 副指揮者 松本和夫 大塚正夫 柏木秀茂 団長 日下部 陽 副団長・技術部長 福井靖史 副団長・財政部長 日置達男 中山博之 事務局長 井上忠彦 事業部長 斎藤恵司 渉外部長 下村興毅 備品部長 古沢 憲 監査 足利裕之・坂口宗夫



◇音楽と仲よしになれる、新しいカタチ、新しい音。

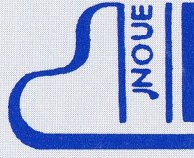
MELODION

M-32

株式会社 鈴木楽器製作所
 浜松市漁家町443 TEL(0534)-61-2325(代表)〒430
鈴木楽器販売株式会社
 横浜市緑区荏田町1856-8 横浜(045)911-1916

アプロピア

東洋ピアノ製造株式会社



井上楽器

小田原お堀端通り

TEL 24-0515